

「おさらい会お疲れ様でした!」と、年長の女の子のお父さんから、声を掛けていただきました。その後が続いた言葉は思いも寄らない「とても感動しました。こんなに成長したんだと思ったら、カメラ越しに涙がこぼれてきて、こんなに涙がでるものかと自分でもびっくりしました!」と・・・毎年、舞台のすぐ傍で司会をさせていただいておりますと、子どもたちが生き活きと楽しそうに発表している姿に感激して、ハンカチが手放せないのですが・・・お父さまとお母さまは、更に生まれた頃の様子を思い



浮かべたりしながら、堂々と発表している姿に成長を感じ感動していただいていたことと思います。

そして、年中組のお母さまからはこんなお声が聞こえてきました。「年長さんの立派な姿を見て、来年の今頃、うちの子があんな風になれるのか想像が付きません。」と。確かに、年長さんがしっかりとセリフを言う様子に、急にレベルアップした印象がありますね。実は年長さんのお母さまからも、「恥ずかしがりやでなかなか挨拶も出来なかったのに、あんなに大勢の前で、大きな声が出せるんですね。」なんていう声も聞かせていただきました。年長組のお家の方にとっては、また新たな成長の一面があったのかもしれないね。

穴川花園幼稚園の子どもたちは、いつの日も年長さんに憧れを持って過ごしているように感じています。

年少・年中の時に年長さんがお世話をしてくれた体験や、運動会でパレードやリレーをしている姿をみて、“僕もやりたい!” “年長さんになったら出来るんだ!” と常に憧れや願いを抱いて生活しているのです。その様子はお家の方々も折に触れ感じることもあるのではないのでしょうか。そして、その憧れの気持ちが大きな原動力になり、自然に前向きなやる気に繋がっているように思うのです。

そうして今年の年長さんも、それぞれが憧れの年長さんを目指して言語劇に取り組んでいたのです。一人ひとりがセリフを覚えて、恥ずかしがらずに演じられるようになるには、それぞれが壁を乗り越えることが欠かせませんが、前向きなやる気があるからこそ、「大きな声でセリフを言わなくっちゃ!」とか「手に何か着けて踊ったら虫に見えるんじゃないかな!」とアイデアを出し合ったり、先生の“もっとこうしたら良くなる”という助言をどんどん吸収して素直に反応して行くようになるのです。

そう考えてみると、それぞれご家庭でお子さんにいろいろな願いを抱いて声を掛けたり背中を押したりすることが多いと思いますが、お子さんがその事柄について“前向きなやる気を持っているかどうか?”が大きなポイントになりそうですね。

幼稚園の行事を通して、お子さまの成長を再確認していただけることは、職員一同大変うれしく、日頃の温かいご理解とご協力にも感謝申し上げます。新しい年も、一緒に感動の涙! ?を味わえる年にしたいと思っております。

佳いお年を  
お迎えくださいませ!



# とんな

「とんな」は、ようちえんで起こる  
とんなとき・とんなこと・こ～んなにを  
折々お届けします。

「わあー」「きゃー」!

## 年少組



お目めをつぶって・・・波の音を聴いているのかな～。それぞれいろいろな想いでなりきって踊る年少組。

おゆうぎの衣装に着替えて、なんだかソワソワの年少組。どうやら誰かに見てほしくて、様子をうかがっているようです。それを察して先生が、「あらモアナさんおはよう!」「すみません、マグロ下さい!」と声を掛けます。すると嬉しさのあまり「わあー!」「きゃー」とみんなで叫び出すのです。

そんな賑やかな年少組ですが、おさらい会では幕が開いた途端、役に入り込んで、なりきって踊る姿がありました。衣装を着ることで、それぞれが主人公になりきることができる!(そう言えば、おままごとも本物があるとグリーンと盛り上がるんですけどっけ!) 子どもにとっては形から入ることが、気持ちまでへんしんさせて、子どもたちの成長にかかせないものようです。こちらまで、思わず「わあー!」「きゃー」と叫びたくなる素晴らしい姿でした。



「とっても強そう！」お友だちや先生に沢山誉めてもらって、こわいおかみを一生懸命演じる年中組。



「Kちゃんはいつもニコニコ楽しそうに踊っていてステキ！」「Yくんが鳴らす音、すごくいい音ね！」と、先生に褒められてとっても張り切る年中組。そんな中、時々ハプニングが起きました。

合奏やオペレッタをしている最中に“ガタン！”と音がして、台の上から足を踏み外して尻もちをついた子がいたのです。また、楽器を勢いよく鳴らそうとしてバチが飛んでしまう子もいました。それは先生に褒められたことが嬉しくて、更に張り切って動きがどんどんオーバーになっていったからでした。

そんな年中組もおさらい会当日は、それぞれが自信をもって発表していました。大人でも張り切り過ぎて失敗することがありますが、子どもたちは失敗を成長の糧として、自信あふれたおさらい会を終えることができたようです。

「失敗は成長の糧」、ですよ。



予行練習で他クラスの劇を真剣に見ている年長組。それを刺激にして、自分の力にしていけるのです。



幼稚園最後のおさらい会で立派な姿を見せてくれた年長組。そうなるまでにはいくつか乗り越えた壁がありました。

ある日、舞台での練習が始まると、緊張か、恥ずかしいのか、急に早口でセリフを言って、足早くはけてしまうのです。先生が慌てて、「ちょっと待って！今何て言ったのか全然聞こえなかった！」と声をかけるほどだんまり。

先生は、「どうしよう！ホールかられんげ組までの広一会場になるの。みんなの声聞こえるかしら？」するとそれを聞いていた子が、少し頑張っって大きな声を出し始めます。それが、子どもたちに少しずつ連鎖して行って刺激し合っって、やがては大きな声ができるようになっていきました。先生のアドバイスや仲間存在に支えられて、壁を乗り越えたのです。先生から「そうそう！それならよく聞こえる！」と褒められて自信を持つと、そこからはもう迷うことなく、楽しみながら堂々とセリフを言うようになっていきました。

そんな子どもたちの姿から、大人の適切な援助と信頼できる仲間がいることによって、一人では乗り越えられない壁も乗り越えられるんだなあと教えてもらった気がしました。

壁はドンするものではなく、乗り越えるものなんですねえ。さて次は、どんな壁が待ち受けているやら・・・。

こ～んな子みっけ!



餅とり粉をお顔につけてお化粧！これから写真撮影です・・・

マネしながら、目下修業中！  
羽沢先生がお餅をつく様子を

